

戸田市 事務事業評価 《事後評価シート》

事務事業名	21207 新曽第一土地区画整理事業													
担当組織	都市整備部					土地区画整理事務所					担当	管理・換地計画担当		
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	04	04	01	01	記入日	令和 3年 6月14日
	R2	20	15	00		R2	01	08	04	04	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補				
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち								○ 対象 ● 対象外				
分野	02	市街地整備												
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理												
事業期間	平成7年度～令和5年度													
根拠法令 通達等	土地区画整理法					関連計画 施政方針		戸田市都市マスタープラン						
	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
対象	新曽第一土地区画整理事業地区内の市民													
事業目的	事業地区内の管理地及び区画街路を適切に管理することによって、地区内の環境を維持するとともに、道路交通の円滑化を図る。													
事業内容	事業地区内の管理地及び区画街路を定期的に巡回し、管理地の適正な維持管理、道路照明灯の設置等を行う。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()													

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)		
	事業者管理地管理業務等			施行者管理地管理業務 戸田駅西口記念式典等	施行者管理地管理業務等	施行者管理地管理業務等	施行者管理地管理業務等		
	事業費		17,418	87,662	28,527	28,527	28,527		
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0		
	県支出金		0	0	0	0	0		
	起債		0	43,300	0	0	0		
	その他		0	0	0	0	0		
	一般財源		17,418	44,362	28,527	28,527	28,527		
	人件費		2,700.36	2,700.36	2,700.36	2,700.36	2,700.36		
投入 人員	常勤職員		0.39人	0.39人	0.39人	0.39人	0.39人		
	非常勤職員		0人	0人	0人	0人	0人		
	事業費+人件費		20,118	90,362	31,227	31,227	31,227		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績	
	活動①	年間の除草実施回数		回		4	3	3	
						4	3	—	
	成果①	住民からの苦情件数		件			5	5	5
							2	2	—
								—	
目標達成 状況 の分析		A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 除草については計画的に実施し、管理地管理業務に関する住民からの苦情についてもその都度対応したことから、目標を達成した。							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 定期的な巡回を行うことで区内の状況を補足し、適宜作業を実施することによって、管理地等の環境衛生、防火、防犯の維持に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 各種業務の内容を十分に精査していることから、経費水準は適正であると判断する。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 業務委託で実施しており、事業手法は適正であると判断する。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 当該事業における各種の業務委託は、適正な公共調達を図られていることから、妥当であると判断する。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 事業が完了するまでは、引き続き当該事業を実施していく。
今後の取組方針	今後も定期的に管理地を巡回し、苦情発生件数の低減を図っていく。

事務事業名	21208 新曽第二土地区画整理事業														
担当組織	都市整備部				土地区画整理事務所					担当	管理・換地計画担当				
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	04	04	02	01	記入日	令和 3年 6月14日	
	R2	20	15	00		R2	01	08	04	04	02	01			

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち									○ 対象		
分野	02	市街地整備									● 対象外		
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理											
事業期間	平成15年度～令和9年度												
根拠法令 通達等	土地区画整理法				関連計画 施政方針			戸田市都市マスタープラン					
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの												
対象	新曽第二土地区画整理事業地区内の市民												
事業目的	事業地区内の管理地及び区画街路を適切に管理することによって、地区内の環境を維持するとともに、道路交通の円滑化を図る。												
事業内容	事業地区内の管理地及び区画街路を定期的に巡回し、管理地の適正な維持管理、道路照明灯の設置等を行う。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業内容	施行者管理地 管理業務・水 路切り直し工 事等	施行者管理地 管理業務等	施行者管理地 管理業務等	施行者管理地 管理業務等	施行者管理地 管理業務等
事業費	34,518	18,636	18,636	18,636	18,636
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	34,518	18,636	18,636	18,636
人件費	2,700.36	2,700.36	2,700.36	2,700.36	2,700.36
投入人員	常勤職員	0.39人	0.39人	0.39人	0.39人
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費	37,218	21,336	21,336	21,336	21,336

指標名	単位	説明・算定式	R1目標	R2目標	R3目標
			R1実績	R2実績	R3実績
活動①	回	年間の除草実施回数	3	3	3
活動②			3	3	-
成果①	件	住民からの苦情件数	3	3	3
成果②			3	3	-

目標達成状況の分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 除草については計画的に実施し、住民からの苦情についてもその都度対応したことから、目標を達成した。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 定期的な巡回を行うことで区内の状況を補足し、適宜作業を実施することによって、管理地等の環境衛生、防火、防犯の維持に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 各種業務の内容を十分に精査していることから、経費水準は適正であると判断する。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 業務委託で実施しており、事業手法は適正であると判断する。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 当該事業における各種の業務委託は、適正な公共調達が図られていることから、妥当であると判断する。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 事業が完了するまでは、引き続き当該事業を実施していく。
今後の取組方針	今後も定期的に管理地を巡回し、苦情発生件数の低減を図っていく。

事務事業名	21209 新曽第一土地区画整理事業特別会計繰出金														
担当組織	都市整備部				土地区画整理事務所					担当	管理・換地計画担当				
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	04	04	03	01	記入日	令和 3年 6月14日	
	R2	20	15	00		R2	01	08	04	04	03	01			

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補	
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち									○ 対象	
分野	02	市街地整備									● 対象外	
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理										
事業期間	平成7年度～令和5年度											
根拠法令 通達等							関連計画 施政方針					
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの											
対象												
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）											
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）											
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()											

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業費		746,050	1,073,793	720,300	953,692	1,099,112	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	300,000	0	0	0	
		一般財源	746,050	773,793	720,300	953,692	1,099,112	
	人件費		692.4	692.4	692.4	692.4	692.4	
	投入 人員	常勤職員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		746,742	1,074,485	720,992	954,384	1,099,804		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①							-
	活動②							-
	成果①							-
	成果②							-
目標達成 状況 の分析	- : 未設定 <判断理由>							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由>
今後の取組方針	

事務事業名	21210 新曽第二土地区画整理事業特別会計繰出金													
担当組織	都市整備部				土地区画整理事務所					担当	管理・換地計画担当			
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	04	04	04	01	記入日	令和 3年 6月14日
	R2	20	15	00		R2	01	08	04	04	04	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち										○ 対象 ● 対象外	
分野	02	市街地整備											
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理											
事業期間	平成15年度～令和9年度												
根拠法令 通達等						関連計画 施政方針							
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象													
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）												
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業内容	新曽第二土地区画整理事業特別会計繰出金	新曽第二土地区画整理事業特別会計繰出金	新曽第二土地区画整理事業特別会計繰出金	新曽第二土地区画整理事業特別会計繰出金	新曽第二土地区画整理事業特別会計繰出金	
事業費	348,871	288,887	759,064	708,412	1,619,784	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	0	100,000	0	0	
	一般財源	348,871	188,887	759,064	708,412	1,619,784
人件費	692.4	692.4	692.4	692.4	692.4	
投入人員	常勤職員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費	349,563	289,579	759,756	709,104	1,620,476	
目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①					-
	活動②					-
	成果①					-
	成果②					-
目標達成状況の分析	- : 未設定 <判断理由>					

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由>
今後の取組方針	

事務事業名	21367 一般管理費													
担当組織	都市整備部					土地区画整理事務所					担当	管理・換地計画担当		
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	12	01	01	01	02	01	記入日	令和 3年 6月14日
	R2	20	15	00		R2	12	01	01	01	02	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち									○ 対象 ● 対象外		
分野	02	市街地整備											
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理											
事業期間	平成7年度～令和5年度												
根拠法令 通達等	* 土地区画整理法 * 戸田市計画事業新曽第一土地区画整理事業施行 規程					関連計画 施政方針							
事業区分	○ 法定受託事務 ● 自治事務のうち義務的なもの ○ 自治事務のうち任意のもの												
対象													
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）												
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	一般管理費(審議会開催・事務所管理・評価委員会開催)						
	事業費	13,939	17,523	17,523	17,523	17,523	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	31	31	31	31	
	一般財源	13,939	17,492	17,492	17,492	17,492	
	人件費	13,432.56	13,432.56	13,432.56	13,432.56	13,432.56	
投入人員	常勤職員	1.94人	1.94人	1.94人	1.94人	1.94人	
	非常勤職員	0.29人	0.29人	0.29人	0.29人	0.29人	
	事業費+人件費	27,372	30,956	30,956	30,956	30,956	
目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①						-
	活動②						-
	成果①						-
	成果②						-
目標達成状況の分析	- : 未設定 <判断理由>						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 当該業務は、2年度より他事業と統合した。
今後の取組方針	令和2年度より、新曽第一土地区画整理審議会費、区画整理事務所管理費、区画整理評価員費、仮住居維持管理事業と統合し、今後も引き続き取り組んでいく。

事務事業名	7385 調査設計費														
担当組織	都市整備部					土地区画整理事務所					担当	管理・換地計画担当			
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	12	02	01	01	01	01	記入日	令和 3年 6月11日	
	R2	20	15	00		R2	12	02	01	01	01	01			

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち										● 対象 ○ 対象外	
分野	02	市街地整備											
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理											
事業期間	平成7年度～令和5年度												
根拠法令 通達等	土地区画整理法					関連計画 施政方針	戸田市都市マスタープラン						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	新曽第一地区地権者												
事業目的	新曽第一地区の土地区画整理事業がより進捗することを目的に、仮換地指定の変更、その他の業務を行う。												
事業内容	新曽第一地区の土地区画整理事業の早期完了を図るため、仮換地指定の変更、その他の業務を行う。また、必要に応じ事業計画及び実施計画の変更を行う。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	事業内容	仮換地及び画地確定測量修正業務等	仮換地及び画地確定測量修正業務、審議会選挙等	仮換地及び画地確定測量修正業務、事業計画変更業務	仮換地及び画地確定測量修正業務等	仮換地及び画地確定測量修正業務等	
	事業費	15,682	24,565	27,351	23,208	24,828	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	15,682	24,565	27,351	23,208	24,828
		人件費	13,224.84	12,393.96	12,393.96	12,393.96	12,393.96
	投入 人員	常勤職員	1.91人	1.79人	1.79人	1.79人	1.79人
		非常勤職員	0.24人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人
	事業費+人件費	28,907	36,959	39,745	35,602	37,222	

	指標名		単位	説明・算定式	R1目標	R2目標	R3目標
					R1実績	R2実績	R3実績
目標達成 状況	活動	① 使用収益開始面積	㎡	土地利用が可能になった面積(累計)	552,428	570,842	502,096
					491,110	494,504	—
	成果	① 使用収益開始率	%	上記面積の仮換地指定面積に対する割合(累計)	90	93	81.8
					80	80.5	—
	成果	②				—	

目標達成状況の分析

C: 活動・成果ともに達成できなかった。
 <判断理由>
 令和2年度までに公共施設の使用収益を開始する予定であったが、地権者を優先したこと、また、道路工事が予定通り進捗しなかったことにより予定通り使用収益を開始出来なかったため、活動指標、成果指標ともに目標を達成することが出来なかった。

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 換地に関する業務は、事業の主要な部分であり、土地区画整理事業の推進という目標達成に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 効率的に事業を推進するために必要な業務であり、経費としては適正な範囲であると考えられる。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 土地区画整理法に基づく事業手法であり、換地設計基準や土地評価基準等に基づき事業を進めていることから、適正な内容と考えられる。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 換地設計基準や土地評価基準等に基づき、同一基準で換地の設計等を実施していることから、公平性は保たれていると考えられる。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 年度毎に必要な調査検討を行うため事業費が増減するが、土地区画整理事業の推進に必要な業務として概ね現状で継続していく必要があるため。
今後の取組方針	土地区画整理事業の早期完了を目指し、優先順位を決めて、効率的かつ円滑な事業推進を図っていく。

事務事業名	7386 建築物等補償事業費													
担当組織	都市整備部					土地区画整理事務所					担当	補償担当		
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	12	02	01	02	01	01	記入日	令和 3年 6月15日
	R2	20	15	00		R2	12	02	01	02	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち										● 対象 ○ 対象外	
分野	02	市街地整備											
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理											
事業期間	平成7年度～令和5年度												
根拠法令 通達等	土地区画整理法					関連計画 施政方針	戸田市都市マスタープラン						
	事業区分 ○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの												
対象	新曽第一土地区画整理事業施行区域内の建物・工作物等所有者及び借家人												
事業目的	新曽第一土地区画整理事業の進捗を図る。												
事業内容	事業に影響する建物・工作物等の所有者及び借家人に対する移転補償を行う。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業費		222,264	114,216	391,000	537,500	718,500	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	75,000	112,500	162,500	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	22,200	10	10	10	
		その他	0	100	5,000	5,000	5,000	
		一般財源	222,264	91,916	310,990	419,990	550,990	
	人件費		20,772	20,772	20,772	20,772	20,772	
	投入 人員	常勤職員	3人	3人	3人	3人	3人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		243,036	134,988	411,772	558,272	739,272		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	建物移転済戸数	戸	今年度移転済(補償契約済)戸数	3	1	6	
					2	2	-	
	活動②						-	
	成果①	移転戸数進捗率	%	建物移転戸数(累計)÷ 要移転戸数	89.6	89.6	90.9	
89.4					89.8	-		
成果②						-		
目標達成 状況 の分析	A: 活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 予定していた建物移転(補償契約)を完了し、活動・成果ともに達成した。							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 新曽第一土地区画整理事業を進捗するために移転補償は必要不可欠であるため、施策の目標達成に大きく貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 関東地区用地対策連絡協議会の損失補償算定標準書及び埼玉地区用地対策連絡協議会の損失補償標準書に基づき適正に算出している。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 移転対象となる地権者等に移転の了承を得た上で進んでいる。また、補償内容の考え方や積算根拠は、法に基づく共通の基準で行っており、事業手法は適正である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由> 法に基づく審議会等で承認された内容を実施しているため、公平性は保たれている。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	地区内の整備状況、過去の地権者等との折衝状況を考慮しながら、令和3年度から令和10年度までの建築物等移転計画を策定及び見直しを行った。
見直しの効果	新曽第一土地区画整理事業を早期完了させるにあたり、効率的かつ円滑に事業を進めていくことができた。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 土地区画整理事業において本事業は必要不可欠であり、令和4年度以降の計画額も増加傾向にある。施策の指標となっている使用収益開始面積割合を上昇させ、事業を早期完了させるために、今後も本事業に影響する建物・工作物等所有者及び借家人と移転補償について契約締結を行いながら、事業を継続していく。
今後の取組方針	新曽第一土地区画整理事業の推進にあたり、本事業の早期完了を地権者より求められているため、効率的かつ円滑に事業を進めていく。

事務事業名	7388 宅地整備事業													
担当組織	都市整備部					土地区画整理事務所					担当	工事担当		
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	12	02	01	03	01	01	記入日	令和 3年 6月24日
	R2	20	15	00		R2	12	02	01	03	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち									● 対象 ○ 対象外		
分野	02	市街地整備											
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理											
事業期間	平成7年度～令和5年度												
根拠法令 通達等	土地区画整理法					関連計画 施政方針			戸田市都市マスタープラン				
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの												
対象	新曽第一土地区画整理事業区域内の地権者及び道路、駅前交通広場等の利用者												
事業目的	新曽第一土地区画整理事業区域内の公共施設整備及び宅地利利用増進を推進し、健全な市街地形成を図る。また、事業計画に基づき調整池の築造を行い地域内の治水安全度を高める。												
事業内容	新曽第一土地区画整理事業区域91.2ha内の道路築造等を実施する。また、調整池の新設及び維持管理を行う。												
実施主体	■ 市による単独直営 ■ 委託 (□ 3セク・財団 ■ 企業 □ 市民・NPO) □ 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業費		338,680	2,709,889	432,472	682,221	674,221	
	財源内訳	国庫支出金	0	426,162	40,000	136,445	134,845	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	134,200	1,716,400	10	10	10	
		その他	567	6,320	5,000	5,000	5,000	
		一般財源	203,913	561,007	387,462	540,766	534,366	
	人件費		16,756.08	16,756.08	16,756.08	16,756.08	16,756.08	
	投入 人員	常勤職員	2.42人	2.42人	2.42人	2.42人	2.42人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		355,436	2,726,645	449,228	698,977	690,977		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動	① 区画街路整備延長	m	区画街路の単年度ごとの整備延長		40	265	171
		② 都市計画道路整備延長	m	都市計画道路の単年度ごとの整備延長		48	61	—
	成果	① 区画街路整備率	%	実施延長(累計)÷全体延長(17,564.7m)		55	0	165
		② 都市計画道路整備率	%	実施延長(累計)÷全体延長(5,326.9m)		75	15	—
						81.2	82.7	82.2
					81.2	81.5	—	
					59.2	59.2	62.8	
					59.6	59.8	—	
目標達成 状況 の分析		C: 活動・成果ともに達成できなかった。 <判断理由> 地権者、関連企業との調整に時間を要し、区画街路築造工事を繰越したことから、令和2年度の区画街路整備率の目標を達成できなかった。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	A	A	B	<判断理由> 地区内の公共施設整備や宅地利用が増進されることで、安全で快適な住環境が創出されるため、施策の目標達成に貢献していると考えられる。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 埼玉県の積算基準や単価等を採用することで、経費の精査が十分になされていると考えられる。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 土地区画整理法に基づき事業を推進しているため、事業手法は適正な内容であると考えられる。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 土地区画整理法に基づき事業を推進しているため、受益の公平性と負担の適正化は図られていると考えられる。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 当該事業については、令和2年度から調整池維持管理事業を含めた。道路築造及び宅地造成整備等の着実な実施により、地区内に安全で快適な住環境の創出が推進されている。現在は、戸田駅西口駅前交通広場整備や3号調整池の整備に着手している。今後は、北戸田駅西口駅前交通広場及び各調整池整備に順次着手することで、一層の事業の推進を図っていく。
今後の取組方針	道路築造及び宅地造成整備に関して、引き続き事業推進を図るとともに、駅前交通広場や調整池の整備についても計画的に取り組んでいく。

事務事業名	21372 長期債元金													
担当組織	都市整備部					土地区画整理事務所					担当	管理・換地計画担当		
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	12	03	01	01	01	01	記入日	令和 3年 6月14日
	R2	20	15	00		R2	12	03	01	01	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	○ 対象 ● 対象外
分野	02 市街地整備	
施策	50 新曽第一、第二地区の土地区画整理	
事業期間	平成7年度～令和5年度	
根拠法令 通達等		関連計画 施政方針
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの	
対象		
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）	
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()	

2. 実施結果

事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業内容	長期債元金	長期債元金	長期債元金	長期債元金	長期債元金	
事業費	133,998	158,944	130,833	110,947	110,986	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	133,998	158,944	130,833	110,947	110,986
人件費	138.48	138.48	138.48	138.48	138.48	
投入人員	常勤職員	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人	
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費	134,136	159,082	130,971	111,085	111,124	
目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①					-
	活動②					-
	成果①					-
	成果②					-
目標達成状況の分析	- : 未設定 <判断理由>					

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由>
今後の取組方針	

事務事業名	21373 長期債利子													
担当組織	都市整備部					土地区画整理事務所					担当	管理・換地計画担当		
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	12	03	01	02	01	01	記入日	令和 3年 6月14日
	R2	20	15	00		R2	12	03	01	02	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	○ 対象 ● 対象外
分野	02 市街地整備	
施策	50 新曽第一、第二地区の土地区画整理	
事業期間	平成7年度～令和5年度	
根拠法令 通達等		関連計画 施政方針
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの	
対象		
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）	
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()	

2. 実施結果

事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業内容	長期債利子	長期債利子	長期債利子	長期債利子	長期債利子	
事業費	1,496	3,834	1,164	947	753	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	1,496	3,834	1,164	947	753
人件費	138.48	138.48	138.48	138.48	138.48	
投入人員	常勤職員	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人	
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費	1,634	3,972	1,302	1,085	891	
目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①					-
	活動②					-
	成果①					-
	成果②					-
目標達成状況の分析	- : 未設定 <判断理由>					

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由>
今後の取組方針	

事務事業名	21374 予備費													
担当組織	都市整備部				土地区画整理事務所					担当	管理・換地計画担当			
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	12	04	01	01	01	01	記入日	令和 3年 6月14日
	R2	20	15	00		R2	12	04	01	01	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち								○ 対象			
分野	02	市街地整備								● 対象外			
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理											
事業期間	平成7年度～令和5年度												
根拠法令 通達等							関連計画 施政方針						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象													
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）												
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
予備費						
事業費	0	300	300	300	300	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	0	300	300	300	300
人件費	0	0	69.24	69.24	69.24	
投入人員	常勤職員	0人	0人	0.01人	0.01人	
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費	0	300	369	369	369	
目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①					-
	活動②					-
	成果①					-
	成果②					-
目標達成状況の分析	- : 未設定 <判断理由>					

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由>
今後の取組方針	

事務事業名	35964 保留地処分事業													
担当組織	都市整備部					土地区画整理事務所					担当	管理・換地計画担当		
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	12	xx	xx	xx	xx	00	記入日	令和 3年 6月14日
	R2	20	15	00		R2	12	xx	xx	xx	xx	00		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち									○ 対象		
分野	02	市街地整備									● 対象外		
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理											
事業期間	平成23年度～令和5年度												
根拠法令 通達等	* 戸田市都市計画事業新曽第一土地区画整理事業施行規程 * 新曽第一土地区画整理事業の保留地処分に関する規則					関連計画 施政方針	戸田市都市マスタープラン						
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの												
対象	新曽第一土地区画整理事業地区内の地権者等												
事業目的	換地計画において定められた保留地を売却し事業費にあてる												
事業内容	一般保留地の売却（一般保留地処分の流れ：鑑定評価、看板作製等の契約、意見聴取、委員会報告、告示、入札応募受付、入札、契約、引渡し）												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)		
事業内容	保留地処分に関する事業	保留地処分に関する事業	保留地処分に関する事業	保留地処分に関する事業	保留地処分に関する事業		
事業費	0	0	0	0	0		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0		
	起債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
人件費	0	0	0	0	0		
投入人員	常勤職員	0人	0人	0人	0人		
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人		
事業費+人件費	0	0	0	0	0		
目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	保留地処分価格の調査件数	件		-	-	-
	活動②						
	成果①	保留地売買契約件数	件		-	-	-
	成果②						
目標達成状況の分析	- : 未設定 <判断理由>						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input checked="" type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 平成27年度に一般保留地の公売を実施したが、次回は未定である。今後はこれまでの保留地処分のノウハウ等を活かしながら、より効果的な保留地処分を実施していく。
今後の取組方針	より良い条件の物件を一般競争入札による方法で売却することにより、事業収益を多く確保できるよう調整していく。

事務事業名	21391 一般管理費														
担当組織	都市整備部					土地区画整理事務所					担当	管理・換地計画担当			
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	15	01	01	01	01	01	記入日	令和 3年 6月14日	
	R2	20	15	00		R2	15	01	01	01	01	01			

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち									○ 対象		
分野	02	市街地整備									● 対象外		
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理											
事業期間	平成15年度～令和9年度												
根拠法令 通達等	* 土地区画整理法 * 戸田市計画事業新曽第二土地区画整理事業施行 規程					関連計画 施政方針							
事業区分	○ 法定受託事務 ● 自治事務のうち義務的なもの ○ 自治事務のうち任意のもの												
対象													
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）												
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
事業の 予算・ 実績	事業内容	一般管理費(審議会開催・評価員会開催・仮住居維持)					
	事業費	1,021	3,448	3,448	3,448	3,448	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	30	30	30	30
		一般財源	1,021	3,418	3,418	3,418	3,418
	人件費	12,947.88	12,947.88	12,947.88	12,947.88	12,947.88	
	投入 人員	常勤職員	1.87人	1.87人	1.87人	1.87人	1.87人
		非常勤職員	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人
事業費+人件費		13,969	16,396	16,396	16,396	16,396	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①						-
	活動②						-
	成果①						-
	成果②						-
目標達成 状況 の分析	- : 未設定 <判断理由>						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 当該業務は、令和2年度より他事業と統合した。
今後の取組方針	令和2年度から、「新曽第二土地区画整理審議会費」、「区画整理評価員費」、「仮住居維持管理事業」の各事業については、「一般管理費」に統合し、今後も引き続き取り組んでいく。

事務事業名	7432 調査設計費														
担当組織	都市整備部					土地区画整理事務所					担当	管理・換地計画担当			
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	15	02	01	01	01	01	記入日	令和 3年 6月11日	
	R2	20	15	00		R2	15	02	01	01	01	01			

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	● 対象 ○ 対象外
分野	02 市街地整備	
施策	50 新曽第一、第二地区の土地区画整理	
事業期間	平成15年度～令和9年度	
根拠法令 通達等	土地区画整理法	戸田市都市マスタープラン 関連計画 施政方針
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの	
対象	新曽第二地区地権者	
事業目的	新曽第二地区の土地区画整理事業がより進捗することを目的に、仮換地指定の変更、その他の業務を行う。	
事業内容	新曽第二地区の土地区画整理事業の早期完了を図るため、仮換地指定の変更、その他の業務を行う。また、必要に応じ事業計画及び実施計画の変更を行う。	
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()	

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業費		15,932	17,484	48,027	25,771	20,523	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		15,932	17,484	48,027	25,771	20,523	
	人件費		13,501.8	11,701.56	11,701.56	11,701.56	11,701.56	
	投入 人員	常勤職員	1.95人	1.69人	1.69人	1.69人	1.69人	
		非常勤職員	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	
事業費+人件費		29,434	29,186	59,729	37,473	32,225		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動	① 使用収益開始面積	㎡	土地利用が可能になった 面積(累計)	66,780	71,917	72,552	
					64,510	70,305	—	
	成果	① 使用収益開始率	%	上記面積の仮換地指定面 積に対する割合(累計)	26	28	28.2	
					25.1	27.3	—	
	成果	②					—	
						—		
目標達成 状況 の分析	C：活動・成果ともに達成できなかった。 <判断理由> 道路工事が予定通り進捗せず、使用収益を開始することが出来なかったことから、活動指標、成果指標ともに目標を達成することが出来なかった。							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 換地に関する業務は、事業の主要な部分であり、土地区画整理事業の推進という目標達成に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 効率的に事業を推進するために必要な業務であり、経費としては適正な範囲であると考えられる
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 土地区画整理法に基づく事業手法であり、換地設計基準や土地評価基準等に基づき事業を進めていることから、適正な内容と考えられる。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 換地設計基準や土地評価基準等に基づき、同一基準で換地の設計等を実施していることから、公平性は保たれていると考えられる。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 年度毎に必要な調査検討を行うため事業費が増減するが、土地区画整理事業の推進に必要な業務として概ね現状で継続していく必要があるため。
今後の取組方針	土地区画整理事業の早期完了を目指し、優先順位を決めて、効率的かつ円滑な事業推進を図っていく。

事務事業名	24723 建築物等補償事業費													
担当組織	都市整備部					土地区画整理事務所					担当	補償担当		
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	15	02	01	02	01	01	記入日	令和 3年 6月15日
	R2	20	15	00		R2	15	02	01	02	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち										● 対象 ○ 対象外	
分野	02	市街地整備											
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理											
事業期間	平成15年度～令和9年度												
根拠法令 通達等	土地区画整理法					関連計画 施政方針	戸田市都市マスタープラン						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	新曽第二土地区画整理事業施行区域内の建物・工作物等の所有者及び借家人												
事業目的	新曽第二土地区画整理事業の進捗を図る。												
事業内容	事業に影響する建物・工作物等の所有者及び借家人に対する移転補償を行う。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)
	事業費		413,482	13,528	356,350	384,350	782,350
	財源内訳	国庫支出金	0	0	75,000	82,500	175,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	10	10	10
		その他	0	100	1,000	1,000	1,000
		一般財源	413,482	13,428	280,340	300,840	606,340
	人件費		20,772	20,772	20,772	20,772	20,772
	投入 人員	常勤職員	3人	3人	3人	3人	3人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		434,254	34,300	377,122	405,122	803,122	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動 ①	建物移転済戸数	戸	今年度移転済(補償契約済)戸数	2	6	2
					2	6	-
	活動 ②						-
	成果 ①	移転戸数進捗率	%	建物移転戸数(累計)÷ 要移転戸数	31.5	33.6	34.4
31.5					33.7	-	
成果 ②						-	
目標達成 状況 の分析	A: 活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 予定していた建物移転(補償契約)を完了し、活動・成果ともに達成した。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 新曽第二土地区画整理事業を推進するために移転補償は必要不可欠であるため、施策の目標達成に大きく貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 関東地区用地対策連絡協議会の損失補償算定標準書及び埼玉地区用地対策連絡協議会の損失補償標準書に基づき適正に算出している。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 移転対象となる地権者等に移転の了承を得た上でやっている。また、補償内容の考え方や積算根拠は、法に基づく共通の基準で行っており、事業手法は適正である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由> 法にも基づく審議会等で承認された内容を実施しているため、公平性は保たれている。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	地区内の整備状況、過去の地権者等との折衝状況を考慮しながら、令和3年度から令和10年度までの建築物等移転計画を策定及び見直しを行った。
見直しの効果	新曽第二土地区画整理事業を早期完了させるにあたり、効率的かつ円滑に事業を進めていくことができた。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 土地区画整理事業において本事業は必要不可欠であり、令和4年度以降の計画額も増加傾向にある。施策の指標となっている使用収益開始面積割合を上昇させ、事業を早期完了させるために、今後も本事業に影響する建物・工作物等所有者及び借家人と移転補償について契約締結を行いながら、事業を継続していく。
今後の取組方針	新曽第二土地区画整理事業の推進にあたり、本事業の早期完了が地権者より求められているため、効率的かつ円滑に事業を進めていく。

事務事業名	24725 宅地整備事業														
担当組織	都市整備部					土地区画整理事務所					担当	工事担当			
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	15	02	01	03	01	01	記入日	令和 3年 6月24日	
	R2	20	15	00		R2	15	02	01	03	01	01			

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補	
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち									● 対象 ○ 対象外	
分野	02	市街地整備										
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理										
事業期間	平成15年度～令和9年度											
根拠法令 通達等	土地区画整理法				関連計画 施政方針		戸田市都市マスタープラン					
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの											
対象	新曽第二土地区画整理事業区域内の地権者及び道路、駅前交通広場等の利用者											
事業目的	新曽第二土地区画整理事業区域内の公共施設整備及び宅地利利用増進を推進し、健全な市街地形成を図る。また、事業計画に基づき調整池の築造を行い地域内の治水安全度を高める。											
事業内容	新曽第二土地区画整理事業区域40.5ha内の道路築造等を実施する。また、調整池の新設及び維持管理を行う。											
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()											

2. 実施結果

		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	事業内容	道路築造等 調整池の維持 管理	道路築造・流 入流出函渠の 設計等、橋梁 設計	道路築造・調 整池築造等 橋梁工事	道路築造・調 整池築造等 調整池の維持 管理	道路築造・4 号調整池・調 整池維持管理	
	事業費	112,121	184,811	354,263	338,263	234,263	
	財源 内訳	国庫支出金	0	33,600	135,000	67,653	46,853
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	51,700	89,200	10	10	10
		その他	0	0	1,000	1,000	1,000
		一般財源	60,421	62,011	218,253	269,600	186,400
	人件費	16,202.16	16,202.16	16,202.16	16,202.16	16,202.16	
	投入 人員	常勤職員	2.34人	2.34人	2.34人	2.34人	2.34人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
	事業費+人件費	128,323	201,013	370,465	354,465	250,465	

目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	区画街路整備延長	m	区画道路の単年度ごとの整備延長	152 99	57 9	214 -
活動②	都市計画道路整備延長	m	都市計画道路の単年度ごとの整備延長		105 174	0 -	
成果①	区画街路整備率	%	整備済道路延長(累計) ÷全体延長(8,081.7m)	35.7 35.1	35.8 35.2	37.8 -	
成果②	都市計画道路整備率	%	整備済道路延長(累計) ÷全体延長(2,152.7m)		13.3 15.8	- -	

目標達成状況の分析
 C: 活動・成果ともに達成できなかった。
 <判断理由>
 地権者との調整に時間を要し、区画街路築造工事を繰越したことから、令和2年度の区画街路整備率の目標を達成できなかった。

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	A	A	B	<判断理由> 地区内の公共施設整備や宅地利用が増進されることで、安全で快適な住環境が創出されるため、施策の目標達成に貢献していると考えられる。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 埼玉県の積算基準や単価等を採用することで、経費の精度が十分になされていると考えられる。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 土地区画整理法に基づき事業を推進しているため、事業手法は適正な内容であると考えられる。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	A	A	B	<判断理由> 土地区画整理法に基づき事業を推進しているため、受益の公平性と負担の適正化は図られていると考えられる。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし。
見直しの効果	特になし。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 当該事業については、令和2年度から調整池維持管理事業を含めた。道路築造及び宅地造成整備等の着実な実施により、地区内に安全で快適な住環境の創出が推進されている。現在は、上戸田川周辺の宅地造成整備や新曾美女木線道路築造等を実施している。今後は、各調整池整備及び上戸田川整備に伴う橋梁整備に順次着手することで、一層の事業の推進を図っていく。
今後の取組方針	道路築造及び宅地造成整備に関して、引き続き事業推進を図るとともに、調整池整備や橋梁整備についても計画的に取り組んでいく。

事務事業名	47986 長期債元金													
担当組織	都市整備部					土地区画整理事務所					担当	管理・換地計画担当		
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	15	03	01	01	01	01	記入日	令和 3年 6月14日
	R2	20	15	00		R2	15	03	01	01	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	○ 対象 ● 対象外
分野	02 市街地整備	
施策	50 新曽第一、第二地区の土地区画整理	
事業期間	平成15年度～令和9年度	
根拠法令 通達等		関連計画 施政方針
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの	
対象		
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）	
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()	

2. 実施結果

事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業内容	長期債元金	長期債元金	長期債元金	長期債元金	長期債元金	
事業費	110,050	156,380	147,860	128,860	128,860	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	110,050	156,380	147,860	128,860	128,860
人件費	138.48	138.48	138.48	138.48	138.48	
投入人員	常勤職員	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人	
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費	110,188	156,518	147,998	128,998	128,998	
目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①					-
	活動②					-
	成果①					-
	成果②					-
目標達成状況の分析	- : 未設定 <判断理由>					

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由>
今後の取組方針	

事務事業名	47806 長期債利子														
担当組織	都市整備部					土地区画整理事務所					担当	管理・換地計画担当			
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	15	03	01	02	01	01	記入日	令和 3年 6月14日	
	R2	20	15	00		R2	15	03	01	02	01	01			

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	○ 対象 ● 対象外
分野	02 市街地整備	
施策	50 新曽第一、第二地区の土地区画整理	
事業期間	平成15年度～令和9年度	
根拠法令 通達等		関連計画 施政方針
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの	
対象		
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）	
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()	

2. 実施結果

事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業内容	長期債利子	長期債利子	長期債利子	長期債利子	長期債利子	
事業費	1,018	3,089	1,064	878	707	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	1,018	3,089	1,064	878	707
人件費	138.48	138.48	138.48	138.48	138.48	
投入人員	常勤職員	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人	
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費	1,156	3,227	1,202	1,016	845	
目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①					-
	活動②					-
	成果①					-
	成果②					-
目標達成状況の分析	- : 未設定 <判断理由>					

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由>
今後の取組方針	

事務事業名	21393 予備費													
担当組織	都市整備部					土地区画整理事務所					担当	管理・換地計画担当		
組織コード	R3	20	15	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	15	04	01	01	01	01	記入日	令和 3年 6月14日
	R2	20	15	00		R2	15	04	01	01	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち										○ 対象 ● 対象外	
分野	02	市街地整備											
施策	50	新曽第一、第二地区の土地区画整理											
事業期間	平成15年度～令和9年度												
根拠法令 通達等						関連計画 施政方針							
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象													
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）												
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
予備費						
事業費	0	200	200	200	200	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	0	200	200	200	200
人件費	0	0	69.24	69.24	69.24	
投入人員	常勤職員	0人	0人	0.01人	0.01人	
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費	0	200	269	269	269	
目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①					-
	活動②					-
	成果①					-
	成果②					-
目標達成状況の分析	- : 未設定 <判断理由>					

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由>
今後の取組方針	